

令和7年度 猪苗代町教育委員会

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書（概要）

1 教育委員会の点検・評価について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正が行われ、新たに教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、毎年点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないとされた。（法第26条第1項）また、上記の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされている。（同条第2項）

2 猪苗代町教育委員会の点検・評価について

（1）点検・評価の対象根拠

猪苗代町教育委員会基本目標に基づき、令和7年度の重点事項の執行状況を対象とした。

（2）令和7年度重点事項

別紙の通り

（3）評価の具体的な方法

①事業名

②項目

③達成目標・内容（数値目標）

④点検・評価（自己評価）

⑤有識者による意見・評価

（4）学識経験者の知見の活用

点検及び評価を行うに当たっては、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図ることにより、客観性を確保するためのものであり、猪苗代町教育委員会の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱に基づき、3名の委員の方々から様々な意見・指導を得ることができた。

① 外部評価開催日：令和8年8月19日（正庁A）

② 猪苗代町教育委員会外部評価委員 3名

渡 部 久 枝 元小学校教員

増 子 玲 子 元猪苗代町社会教育委員

氏 田 泰 昭 元猪苗代小学校PTA会長

3 点検・評価の結果

別紙の通り

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

1 教育総務課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備	
事業名	1. 学校施設の長寿命化等整備・修繕及び教育備品等整備事業	
主要項目	①学校施設の長寿命化改修工事等整備・修繕の実施 ②教育備品等の整備	
自己評価	老朽化が進む小学校2校の長寿命化改修工事を始め、施設の破損等に対し必要な工事、修繕を実施し、安全・安心な教育環境の整備に努めた。また、学校等に一般備品・図書備品・教材備品の整備を行い、児童生徒の快適な教育環境の維持に努めた。	C
外部評価	老朽化が進む校舎の改修工事等が適切に行われ、安全・安心な学校生活を送るための施設整備が進んでいる。時代に合わせてより良い環境になるよう整備をお願いしたい。教育備品に多くの予算を使えば子ども達にとって充実した学習環境になると思うが、老朽化施設の改修も行わなければならないという板挟みの中でよくやっていると思う。	C
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援	
事業名	1. 園児、児童生徒に夢と希望を与え、生きる力の基礎を培う園、学校づくりの推進 2. 国際化、情報化等（変化）に対応する教育の実践 3. キャリア教育の推進 4. 生徒指導の充実	
主要項目	①存在感(特色)のある、学校づくりの実践 ②「私たちの誓い6カ条」運動の実践 ほか	
自己評価	スクールバス、マイクロバスを活用して体験学習や見学学習を実施し、学習の目的を達成できた。「わくわくブック」は図書の選定の見直しを行った結果、児童生徒数が減少している中、令和6年度並みの実績、完読賞については倍増した。小学校に支援員を1名増加し10名体制となり、きめ細やかな支援を行うことができた。国際化に対応する教育の実践として、小中学校にALTを派遣し、英語教育の充実を図ることができた。キャリア教育については、地域の協力を得ながら農業体験や見学学習を通して収穫の喜びや充実感を味わうことができ、中学生は体験を通して働くことの大変さや意義を学ぶことができた。生徒指導について、積極的ないじめの認知ということで認知件数は6件あったが、早期発見、早期解決でどれも重大な事案にはなっていない。中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒や保護者の悩みや不安に対応した。	C
外部評価	生きる力とは経験や体験を通して育まれるものだが、いろいろな取組みが行われている。子ども達が目標を見つけられるような教育、基本的人権の尊重が大切だとわかる教育に尽力してほしい。昨年度中学校で高校受験前に事件があったが、スクールカウンセラーを配置し対応していただいたおかげで、子ども達も安心して落ち着いて受験し進学することができた。他の市町村と比べても支援員が充実している。今後も人材を確保して、支援が必要な子どもが充実した学校生活を送れるようにしてほしい。不登校やいじめについては、教職員間で情報共有したり、スクールカウンセラーと連携して取り組んでほしい。	C
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援	
事業名	1. 一人一人に確かな学力をつけさせる授業づくりの実践 2. 各学年、学級、個人の学力実態把握による授業改善の実践・支援 3. 一人一人の学習意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践	
主要項目	①個人研究、校内研究の推進及び町学力向上推進事業による授業研究会、学力検査の実施と結果の分析・活用 ほか	
自己評価	計画的に要請訪問を実施した。東京学芸大学の先生を外部講師とした授業研究会では、昨年度初めて国語の授業を実施し、先生方から好評だった。NRT学力検査、全国学力・学習状況調査、ふくしま学力調査では、国語、算数・数学とも全国平均を下回る学年が多く、学力は伸び悩んでいる。特に中学校の数学の学力向上が課題。児童生徒の資質・能力の育成を目指し、授業スタンダード、学びの変革授業デザインを活用して、授業改善に取り組んでいるところである。	D
外部評価	難しいと思うが、学力が全国平均に近づくよう努力してほしい。中央から講師を招いた研究会は先生方には貴重な経験となっており、取組みは評価できる。学力調査で中学校の数学が低いのは、小学校でのつまづきを引きずっているのではないと思う。何か工夫が必要なのではないか。地域によって子どもの能力に差があるとは思わない、子供たちに学ぶ楽しさ、喜びに気づいてほしいと思う。	C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援	
事業名	1. 園児、児童生徒の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による園児、児童生徒の健康増進 3. 健康安全に関わる危険予知・対処・回避能力の育成	
主要項目	①体力運動能力の増進、各種大会参加支援 ②食育の充実 ③交通安全教室や放射線教育の実施 ほか	
自己評価	町教委指導主事が、体育の授業や部活動に出向き、児童生徒の活動を指導・支援し体力、運動能力の増進を図った。小中学校だけでなく令和7年度からはこども園にも出向き体力の向上を図っている。継続的な支援により野口体育祭や各種大会でよい成績を収めた。中学校の部活動において、地域連携活動をスタートさせた。地域のスポーツ団体関係者を指導者として配置し、生徒への技術指導を行った。通学路交通安全プログラムに基づき、町総務課・建設課・教育総務課の三課による総点検を実施した。総点検の結果をもとに実施した通学路安全対策推進会議の結果、危険箇所スクールゾーンの新設や、路面標示の引き直し等が行われ、通学路の安全を確保することができた。	B
外部評価	指導主事がこども園で運動の指導をしているのは猪苗代町独自の取組みで期待したい。中学校の部活動では地域連携の効果が上がってきていると思う。想定外の災害があちこちで起こっている。いろいろな想定をして、マニュアルを高めに設定することが必要。通学路の点検の結果、スクールゾーンが拡大されたことはよかった。今年の4月に道交法改正のあった自転車の乗り方についても児童生徒に指導してほしい。	B

評価基準	自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
	外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

2 こども課

重点事項	充実した活力ある学習環境の整備		
事業名	1. こども園施設整備・修繕、教育保育備品整備事業		
主要項目	園児等の快適な教育環境を維持するため、施設の整備・修繕及び教育備品等の整備を行う。		
自己評価	ひまわりこども園は開園10年目、さくらこども園は開園14年目を迎え、園舎や設備等に経年に伴う不具合等が発生したほか、令和7年1月から2月にかけての大雪により両園の園舎や外壁等が罹災したが、適宜、修繕を実施するとともに、備品整備や保育室の畳表替えを行い快適な教育・保育環境の維持に努めた。また、令和4年度に各こども園に導入した保育施設ICTシステムについて、令和5年度から園児の登降園管理、通園バス運行管理、写真販売等、使用する機能を追加し、業務の効率化と利用者サービスの向上を図っている。		C
外部評価	子どもたちが快適に安全・安心に過ごせるよう、引き続き環境整備に努めていただきたい。保育ICTシステムを導入していることは大変良いことだと思う。ICTをさらに活用し、業務の効率化を図っていただきたい。		C
重点事項	「生きる力」の基礎を培う教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児に夢と希望を与え、生きる力の基礎実現を培う園づくりの推進 2. 変化に対応する教育保育の実践 3. 指導の充実		
主要項目	①存在感（特色）あるこども園づくりの実践②特別支援教育の推進 ほか		
自己評価	施設周辺の住民や自然に触れ合いながら教育保育を実施した。また、農作物を育て、収穫し、食するという体験を通して食べ物の大切さを学習し、さらには情操教育の一環として茶道教室を開催して正座や作法、礼儀を学ばせるなど、特色ある教育保育活動を実施することができた。特別支援が必要な子どもには専属で保育教諭を配置して対応し、障がい児支援の研修にも積極的に参加してスキルアップを図った。特別支援を必要とする子どもが増えており、安心、安全な園運営のためにも体制強化を図る必要があることから、支援にあたる保育教諭の増員が必要である。		C
外部評価	子どもにとって体験することはとても大切なので、これからも様々な体験・経験をさせていただきたい。特別支援については、きめ細やかな対応をしていただきありがたい。特別支援担当教諭が不足しているのであれば、増員をお願いしたい。保護者が気軽に園に相談できるような雰囲気づくりをお願いしたい。		C
重点事項	「確かな学力」を育む授業づくりの実践、支援（学びの連続性をもてる保育環境作りの実践、支援）		
事業名	1. 一人一人に確かな学びの基礎を培う教育保育の実践 2. 一人一人の学びの意欲を喚起し、やる気を育てる工夫、実践		
主要項目	①共通テーマに基づく研究の実践、研修参加推進 ②幼小の円滑な接続の重視 ほか		
自己評価	様々な研修機会に多くの保育教諭が参加し、講演や他園の研究事例等を学習することにより、研修で得た知識を他の保育教諭と共有し、教育保育の現場での実践に役立てた。小1プロブレムを解消し、年長組が小学校へスムーズに入学できるように、交流事業、体験入学や保育教諭と小学校教諭との引き継ぎ面談を行った。特別支援が必要な子どもの就学については、小学校、教育総務課及び保護者と連携を取り対応した。笑顔で元気に園生活を送ることを目標に、毎朝、リズム体操を実施し、活発な行動を促した。また、絵画コンクールに出品することで、絵を描く楽しさ、豊かな感性と表現能力を培った。		C
外部評価	先生方が研修会で情報交換を行い自己研鑽して、子どもたちに還元してほしい。年長児がスムーズに小学校生活になるよう、2園の年長児の交流、幼小連携・情報交換の場を多く持とうとしている点が評価できる。小1プロブレムは重要な課題であると思うので、今後もそういった場を多く持っていただきたい。		C
重点事項	「健やかな体」をつくる教育活動の実践、支援		
事業名	1. 園児の体力、運動能力の増進 2. 家庭や地域、関係機関との連携による園児の健康増進 3. 災害時緊急時の対応や危険予知、対処・回避能力の育成		
主要項目	①体育的行事の充実 ②「早寝・早起き・朝ご飯」運動の実践 ほか		
自己評価	園庭や遊戯室を有効に利用し、日ごろから体を動かす遊びを取り入れて健康で元気な体づくりに努め、運動会ではその成果を十分発揮することができた。また、令和7年度から各園に月1～2回、教育委員会の指導主事が来園して園児に運動指導を実施し、基礎体力の向上を図った。早寝・早起き・朝ごはん運動を実践し、園児の朝食摂取率は100%であった。令和7年度から、園児の虫歯予防と歯の健康保持のため、年長児と年中児を対象に週2回、フッ化物洗口を実施した。各こども園で実施した引き渡し訓練では、事前に様々なケースを想定して準備を行い、訓練当日は確実に園児を保護者に引き渡すことができた。		B
外部評価	朝食の摂取率100%は素晴らしい。フッ化物洗口の実施により先生方の負担も増えたと思うが、園児の虫歯予防のために実施していただきありがたい。環境の変化により災害も多様化しているので、臨機応変に対応できるよう様々な想定での訓練を引き続きお願いしたい。		B
重点事項	「家庭の教育力」の回復		
事業名	1. 園、学校・家庭・地域社会の連携、協力体制の構築、推進		
主要項目	①こども園PTAによる各種事業、活動の推進 ②広報活動の実践 ③子育て支援 ほか		
自己評価	園運営に地域の方々からさまざまな協力をいただき、地域との良好な関係を構築できた。朝夕の保護者との連絡・報告、園だよりの発行、連絡帳の活用等により信頼関係を構築することができた。また、子育て相談は内容が多様化・複雑化してきているが、保育教諭、保健師、栄養士がきめ細やかに対応し、内容によっては保健福祉課や関係機関と連携して対応した。子育て支援拡充のため、令和7年度から「年度末・年度始めの休園日短縮」「育休退園の廃止」「おとし登園」「一時保育の利用要件緩和」を実施した。		B
外部評価	園庭の草むしりなどは、保護者と職員だけでなく、園児も一緒にできるとさらに良いと思う。保護者との連絡を密にし、信頼関係を構築できていることは大変素晴らしい。今後も信頼関係の構築に努めていただきたい。一時保育の利用要件緩和など、子育て支援の拡充は保護者にとって大変ありがたいことだと思う。		B

評価基準

自己評価 A：大きく上回る B：やや上回る C：目標達成 D：やや下回る E：大きく下回る
 外部評価 A：期待以上 B：やや上回る C：期待どおり D：やや下回る E：期待以下

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

3 生涯学習課

重点事項	「豊かさ」と「活力」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	1. 生涯学習の推進		
主要項目	①学習機会と情報提供、相談体制の整備 ②世代間交流事業の充実 ほか		
自己評価	地域学校協働活動事業では、これまで小学校で開催してきた放課後子ども教室に加え、新たに中学校で学習支援を展開し、職業体験や学習活動の見守りなどを実施した。その他の教養講座についても、引き続き回数や内容について関係者と協議を重ねるとともに、各種団体や近隣市町村で行われている講座の情報を紹介するなど、参加者が希望や意欲を膨らませながら継続的な学習活動に繋がられるよう支援し、新規受講者の確保に注力していきたい。		C
外部評価	子ども英会話教室の受講者が増えており素晴らしい。地域学校協働活動事業では、地域の方に関わって頂くことで、地域の理解や交流が促進し、住民の喜びにもなっている。学ぶことの喜びを育むことは、子どもたちの学力向上にも繋がると考えられる。今後も町民のニーズに応えながら学ぶ機会づくりとなる講座の運営を続けて欲しい。		C
重点事項	「豊かさ」と「活力」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	2. 図書歴史情報館（和みいな）利活用の推進		
主要項目	①図書館サービスの充実 ②歴史情報室の利活用 ③和みいなボランティアの育成と活用 ほか		
自己評価	年間の来館者数、貸出冊数は前年実績より増となっている。ボランティアの活用については、読み聞かせや各種イベント、学習会など育成と活用を図ることができた。 子ども園と児童クラブへは、通常程度本の貸出を行うことができ、読み聞かせも例年どおり開催することができた。 また、企画展として開催した猪苗代ビブリオバトルや猪苗代町合併70周年記念企画展、ハロウィン・クリスマス等の季節のイベントでは、会場を埋める参加者を集客することができた。		C
外部評価	15歳までの貸し出し数が減となっている。どうしてもインターネットやゲームに流れてしまう。この流れを本に戻すことは難しいと思われるが、本に親しむ機会をつくり、戻す努力を引き続き行ってほしい。児童クラブや日向ぼっこの読み聞かせは子どものうちから読書に親しむよい機会なので、多くの親子に体験して欲しい。また歴史情報室ではビブリオバトルや企画展など、毎年魅力的なイベントを開催していただいているので、多くの方に来館してもらえるよう効果的な広報活動をしてほしい。		C
重点事項	「豊かさ」と「活力」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	3. 文化財の調査・保存・活用事業の推進		
主要項目	①史跡の調査、保存・活用 ②民俗資料の調査、収集・活用 ③埋蔵文化財の調査 ほか		
自己評価	県指定史跡である猪苗代城跡附鶴峰城跡を国指定史跡とするため、文化庁の指導を受け事業を進めている。猪苗代町歴史民俗資料館は開館4年目を迎え、小学校の学習利用など町内外から約743名の来館者があった。 文化財の保存では、町指定天然記念物保存事業により、磐椅神社の大鹿桜の保存及び百目貫の公孫樹の保存に努めた。また、猪苗代城跡遺跡内における新築住宅建設に係る工事立会を実施するなど埋蔵文化財の保存に努めた。		C
外部評価	猪苗代城跡附鶴峰城跡の国指定史跡推進をお願いしたい。猪苗代町には多くの歴史や文化財が存在しており、歴史や伝統を後世に伝えることは大切なことである。歴史民俗資料館では懐かしい展示品をそろえ魅力的な企画展を開催しているので、町内のみならず会津若松市内の学校へも広報活動に尽力してほしい。		C
重点事項	「豊かさ」と「活力」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	4. 生涯スポーツの振興		
主要項目	①町民を対象にした各種大会や教室等の充実 ②総合型地域スポーツクラブの活用と体力の向上 ほか		
自己評価	例年開催している大会及び事業については、参加者数が減少した大会等もある。これらは概ね人口減少の影響によるものと捉えており、事業自体は滞りなく実施することができ、町民の皆様に参加していただいたことにより、健康維持並びに体力の増進につながったものと考えている。また、新たな試みとして中学生が企画・運営する形でスポーツフェスティバルが開催できたことは、多世代の交流促進、地域の活性化と次世代を担う人材育成につながるものと期待している。若い力と地域・行政が連携し持続可能なスポーツ振興に努めた。 また、体育施設の維持管理に関しましては、経年劣化による傷みが著しい施設を多く所管しているが、優先順位をつけながら、計画的に修繕等を行った。施設利用に関して、利用者に不便をかけないように、安心安全に知用できる施設の管理に努めた。		C
外部評価	中学生が企画運営したスポーツフェスティバルは、生徒が成功させようとする姿がみられ、また、地域を担う人材育成にもつながるものと感じることができた。パラリンピックアルペンスキー競技についてパブリックビューイングが開催され、町民が一体となって鈴木猛史選手を応援できたことは、障がい者スポーツへの理解、共生社会の実現及びパラスポーツ振興が図られたと思う。クラブチーム、運動場など環境が整っていれば、子供たちは生き生きとスポーツを楽しむことができることを認識しており、これからもこれらの環境維持をお願いする。滞りなく開催できた各種大会やイベントは、選手はもちろん関係者、ボランティアなどの協力者がなくては成り立たず、今後も人材育成並びに環境整備をお願いする。		C
重点事項	「豊かさ」と「活力」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	5. 文化活動の推進		
主要項目	①町民主体の文化活動の充実 ②体験交流館（学びいな）の利活用の推進		
自己評価	インターネット配信などにより演劇や映画などを劇場で鑑賞する機会が減りつつある今日、「ファミリーシアター」の開催は有効かつ好評だった。学びいなの協働清掃や協働事業については、あらためて体験交流協会と協議し、同会員の負担軽減を図るとともに、さらに有意義な活動となるよう検討した。今後も団体の活動意欲が継続していくよう見守るとともに、様々な相談に応じるなど支援を続けながら、生涯学習の振興と啓発に力を入れていきたい。		C
外部評価	学びいな祭りはいつも盛況で活気がある。制作体験メニューが増えれば子ども達の来場が更に増えると思われる。ファミリーシアターは、子どもの心を育てる貴重な機会であるので、今後も続けて欲しい。学びいなの協働清掃活動については、体験交流協会と今後も検討を重ねながら負担を軽減しつつ綺麗な施設づくりに取り組んで頂きたい。		C

評価基準	自己評価	A：大きく上回る	B：やや上回る	C：目標達成	D：やや下回る	E：大きく下回る
	外部評価	A：期待以上	B：やや上回る	C：期待どおり	D：やや下回る	E：期待以下

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価の結果に関する報告書【概要】

重点事項	「豊かさと活気」にあふれ、学び続ける猪苗代の創造		
事業名	6. 地域を担う人材の育成		
主要項目	①絆づくり事業による交流の充実 ②町民総ぐるみによる青少年の健全育成活動の展開		
自己評価	母から子への手紙コンテストは、応募者にご負担いただく郵便切手代が値上げになったものの、前年度応募者へのPRハガキ送付や問い合わせ電話への配慮によって、目標を超える応募があった。最終選考会では、選考委員4名中2名が入れ替えとなり、これまでと違った視点・感性で、より優れた入賞作品が選ばれたと感じた。また、表彰式出席者へのおもてなしを徹底し、概ねご満足いただいたようだ。思い出の絵手紙は、多くの子どもたちが思い出を見つけて描いてくれたことを嬉しく思った。今後も関係機関と協力しながら、心身の健全育成に努めたい。		C
外部評価	母から子への手紙は、昨年で24回も続いているにもかかわらず応募数が目標を上回ったことに驚きを感じる。表彰式で職員が出席者のおもてなしに力を入れていることは素晴らしい。青少年の主張大会は、今後も県大会で好成績が残せるよう引き続き支援をお願いしたい。思い出の絵手紙は、例えば作品を各校にも展示してみるのも良いと思う。		C

評価基準	自己評価	A : 大きく上回る	B : やや上回る	C : 目標達成	D : やや下回る	E : 大きく下回る
	外部評価	A : 期待以上	B : やや上回る	C : 期待どおり	D : やや下回る	E : 期待以下

